参考様式（第16条第１項関係）

施工状況報告書

（第一面）

年　　月　　日

仕様規定の基準による適合の確認

|  |  |
| --- | --- |
| 集合住宅等における単位住戸の番号※ |  |
| 工事を完了した住宅の名称※ |  |
| 工事を完了した住宅の所在地※ |  |
| 工事施工者※ |  |
| 検査を実施した年月日 | 年　 　月　 　日 |
| 検査者の氏名 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 検査する分類及び種類  | 施工状況報告欄  | 施工状況確認欄 |
| 関連図書※ | 管理の時期※ | 確認内容 | 検査の方法 | 判定結果（適・不適）及び指摘事項の記録 |
| 外気等に接する開口部の断熱性能 | 窓 |  |  | １３４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適適・不適適・不適 |
| ドア |  |  | １３４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適適・不適適・不適 |
| 外気等に接する躯体等の断熱材の断熱性能 | 壁 |  |  | １２４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適適・不適適・不適 |
| 屋根又は天井 | 屋根 |  |  | １２４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適適・不適適・不適 |
| 天井 |  |  | １２４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適適・不適適・不適 |
| 床 | 外気に接する部分 |  |  | １２４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適適・不適適・不適 |
| その他の部分 |  |  | １２４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適適・不適適・不適 |
| 土間床等の外周部 | 外気に接する部分 |  |  | １２４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適適・不適適・不適 |
| その他の部分 |  |  | １２４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適適・不適適・不適 |
| 設備の省エネルギー性能 | 照明設備 |  |  | １４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適適・不適 |
| 暖房設備 |  |  | １４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適適・不適 |
| 冷房設備 |  |  | １４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適 |
| 給湯設備 |  |  | １４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適 |
| 浴槽 |  |  | １４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適 |
| 配管方式 |  |  | １４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適 |
| 水栓 |  |  | １４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適 |
| 機械換気設備 |  |  | １４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適 |
| 設備の創エネルギー性能 | 太陽光発電システム |  |  | １４ | Ａ、Ｂ、ＣＡ、Ｂ、Ｃ | 適・不適 |

（注意）

１　第一面関係

　(1) 第一面は、仕様規定による基準によって適合を判断する場合に作成してください。

　(2) 集合住宅等において認証を受けようとする住戸が異なる場合であっても、設計内容が同一である場合は、同一様式内に記載することができます。

　(3) 「集合住宅等における単位住戸の番号」欄には、集合住宅等において当該施工状況報告が特定できる番号を記載してください。

　(4) 「工事を完了した住宅の名称」欄には、認証を受けようとする住宅が特定できる名称を記載してください。同一敷地内に複数の認証を受けようとする住宅が存する場合には記号等を用いて区別してください。未定の場合は、その旨を記載してください。

　(5) 「工事を完了した住宅の所在地」欄には、認証を受けようとする住宅が特定できる住居表示を記載してください。未定の場合は、その旨を記載してください。

　(7) 「検査者の氏名」欄には、検査を行った認証審査員の氏名を記載してください。

　(8) ※の付されている欄は、工事施工者が記入してください。

　(9) 「施工状況報告欄」の「関連図書」欄には、施工状況の証左となる施工関連図書の名称を記載してください。同一名称の図書が複数にわたる場合は、記号、頁番号等により、容易に区別ができるようにしてください。

　(10)「施工状況報告欄」の「管理の時期」欄には、施工し、その施工状況報告を整備した時期を記入してください。

　(11)「施工状況確認欄」は、検査を行う者がその左の欄の記載事項を確認したことを記録するために用いてください。

　(12)「施工状況確認欄」の「確認内容」欄には、検査する分類及び種類に係る施工状況を確認した内容について、１：部材、建具及び設備等の種類、性能・品質、寸法並びに位置、２：部材相互の構成方法及び接合方法、３：付属部材の種類、寸法及び位置、又は４：その他必要な事項の確認のいずれかの番号により記載してください。

　(13)「施工状況確認欄」の「検査の方法」欄には、確認内容ごとに実施した検査の方法について、Ａ：実物の目視、Ｂ：実物の計測又はＣ：施工関連図書の確認のいずれかの記号により記載してください。

　(14)「施工状況確認欄」の「判定結果」欄には、設計確認審査を受けた当該住宅に係る設計図書のとおりに、工事が行われているかについて、不適合箇所が判明した場合には「不適」と、それ以外の場合には「適」と記載し、「不適」と記載した場合には、工事施工者に対して行った不適合箇所の指摘事項を記載してください。

　(15)様式内の欄に記載事項が入らない場合は、別添用紙を用いることができます。この場合にあっては、別添用紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号等を記載してください。